

A0802-01	重合し易い物質の保管・取り扱いには注意せよ		
本文	重合し易い物質を間歇的に容器に充てんして保管する場合は、その取扱いに注意し、異常な重合反応が起こっていないことを確認すること。		
リスクの種類	爆発	関連目次・章節	
理由(何故)	重合しやすい性質のブタジエンなどの保管中に、重合禁止剤の濃度が増減したり内部の温度が上昇したりすると異常重合反応を起こす。また、重合物の残った容器に充てんすると、それが核になって異常重合反応を促進する。		
方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重合禁止剤の濃度を確認する。</li> <li>・ 直射日光に長時間さらして温度を上げない。</li> <li>・ 事前に容器内のポリマーの除去をする。</li> </ul>		
事故例	<p>1,3-ブタジエンを 500kg 容器に充てんし、移動して小分け作業を行った。その間 52 時間直射日光下にあり、圧力が上昇した。ポップコーンポリマーが生成して安全弁を詰まらせ、容器が破裂、爆発した。最初から容器内に存在していたポップコーンポリマーが重合の核となり、直射日光加熱により異常反応となった。</p> <p>(死 0、負 0) (1994.8 化学工場 三重県)</p>		
法的参考事項	高圧ガス保安法は容器の温度を 40℃以下に保つように規定している。		
備考	出典:JST「失敗知識 DB」		